

「三郡山(大原越え)」

(2) 三郡山の乗り越し～長者ヶ成



⑩【参考】⑨の分岐を下原の側へ下ると、尾根に内藤備州の石塚という石がある。(峠道とは別) (2008年4月撮影)



⑪三郡山頂近く。山頂近くに達すると東側、戸奈瀬方面が少し見える。



⑫三郡山の乗り越し。道は尾根の東側から西側へ乗り越す。この地点で複数の道が分岐し、石仏や道標がある。(2008年4月撮影)



⑬三郡山の乗り越し。石仏兼道標。「弘化三丙午(1846)9月 志主 下原 上原 下皆地 右 上ばら した八 下のかいち」と記されている。(2010年11月撮影)

⑭三郡山の乗り越し。道標。「右八かわい大原 左八大なる道」と記されている。(2010年11月撮影)



⑮長者ヶ成。三郡山頂の西北に長者ヶ成という小さな平坦地がある。現在は植林されている。

(3) 三郡山頂西側～蛇ヶ谷源流



16

⑯三郡山頂西側。三郡山頂から西に続く尾根道は並木道のような美しく快適な道である。(2010年11月撮影)



17

⑰三郡山頂西側。「大ばら」を指し示す道標。側面に「天保七(1836)申五月立之」と刻まれている。乗り越しの「右 上ばらした八 下のかいち」より10年古い。(2010年11月撮影)



18

⑱「大ばら」の道標の西。道は蛇ヶ谷の方向へ降りていく。作業道が尾根近くまで造成されている。



19

⑲蛇ヶ谷源流と、大成から来た峠の谷との合流点。砂防堰堤の上部に、石仏がある。



20

⑳蛇ヶ谷源流、谷の合流点。砂防堰堤の上部に、家跡の石垣がある。蛇ヶ谷での聞き取りによると、林業で稼ぎを得ていたという。



21

㉑蛇ヶ谷への林道。蛇ヶ谷はほとんど林道歩きとなる。